

【資料3】

令和5年度 食育に関する取り組み一覧

★調査方法★ (1) 主に対象となる目標1項目に◎ (2) その他に対象になる項目には○ (複数回答可)

【報告者名】 名古屋経済大学 人間生活科学部管理栄養学科 夏目有紀枝														
事業名	対象年代			基本目標1 食を通じて健やかな身体をつくろう	基本目標2 食を通じて豊かな心を育てよう	基本目標3 食を通じて環境にやさしい生活をしよう	基本目標4 食育を広めよう	今後の課題・問題点						
	園児	小中学生	一般市民	毎 日 朝 食 を 食 べ る 人 の 増 加	自 分 の 食 生 活 が よ い と 思 う 人 の 増 加	自 分 の 適 正 体 重 を 知 っ て い る 人 の 増 加	よ く 噛 ん で 味 わ っ て 食 べ る 人 の 増 加		食 事 が 楽 し い と 回 答 す る 人 の 増 加	そ う さ ま な ど の あ い さ つ を す る 人 の 増 加	「 い た だ き ま す 」 こ こ ち を す る 人 の 増 加	郷 土 料 理 を 年 1 回 以 上 実 施 し て い る 人 の 増 加	地 元 産 食 材 を 購 入 し て い る 人 の 増 加	食 事 の 食 べ 残 し を し な か っ た 人 の 増 加
「いきいきこまき」への出展（健康に関する媒体の展示・配布と健康チェック）			◎	◎	○				○	○	2023年11月18・19日に参加予定			
<犬山市のイベント>「犬山市タウンミーティング&健康フェア」への参加（健康に関する媒体の展示・配布と健康チェック）			◎	◎	○				○	○	2023年9月30日に参加予定			
<名古屋経済大学（犬山市）管理栄養学科の取組み>日本栄養士会主催「栄養ワンダー2023」への参加			◎	◎	○				○	○	イベントの告知をもっと早くから広く行うことが課題である。今年度は大学のオープンキャンパスとジョイントしたが、今後は対象者の範囲をより広げ、継続的に実施していきたい。			
<岩倉市のイベント>「65歳の集い」における講演（フレイル予防のための食事、生活習慣について）			◎	◎	○				○		たんぱく質摂取などフレイル予防につながる食育を広めていくことが大切である。より若い年代からフレイル予防を意識していただけるよう情報発信をしていきたい。			
<犬山市の企画>慢性腎臓病予防講座における講演（たんぱく質と塩分の適切な摂取について）			◎	◎					○		腎臓病への早期対策をすることや、たんぱく質を上手に摂取することの重要性を今後も伝えていきたい。健康診断のスクリーニングで抽出された対象者に講座へと足を運んでいただくための動機付けが課題である。			
<犬山市の企画>犬山市民総合大学 敬道館における講演（「ちょこっと気づかう健康法」）			◎	◎	○				○		2023年9月23日に実施予定			
厚生労働省の「食生活改善普及運動」への参加（媒体の学内およびイベントでの掲示）、「スマート・ライフ・プロジェクト」への参加登録			◎	○	◎	○			○	○	大学内の掲示だけでは閲覧者の特性が偏るため、イベントに参加する機会を利用して、対外的に広くアピールしていくことが課題である。			
【その他の課題・問題点】														

令和5年度 食育に関する取り組み一覧

★調査方法★ (1) 主に対象となる目標1項目に◎ (2) その他に対象になる項目には○ (複数回答可)

【報告者名】尾張中央農業協同組合 営農指導課 石原沙彩								
事業名	対象年代			基本目標1 食を通して健やかな身体をつくろう	基本目標2 食を通して豊かな心を育てよう	基本目標3 食を通して環境にやさしい生活をしよう	基本目標4 食育を広めよう	今後の課題・問題点
	園児	小中学生	一般市民	加毎日朝食を食べる人の増加 自分の食生活がよいと思う人の増加 自分の適正体重を知っている人の増加 よく噛んで味わって食べる人の増加	人の増加 食事が楽しいと回答する人の増加	郷土料理を年1回以上実施している人の増加 “そいいただきます”“こちそうさま”などのあいさつをする人の増加	地元産食材を購入している人の増加 か食事の食へ残しをしながら食事の人の増加 自宅で食べる野菜を栽培している人の増加	
三ツ瀧小学校 野菜栽培体験		◎		○		◎	◎	夏野菜の苗を配布し栽培を学ぶ。(先生の農業に関する指導も必要)
北里小学校 野菜栽培体験		◎		○	○	◎ ○ ○	◎	野菜の苗(ミニトマト)を配布し、朝顔プランターで栽培を学ぶ。(先生の農業に関する指導も必要)
小牧小学校 野菜栽培体験		◎		○	○	◎ ○ ○	◎	野菜の苗(ミニトマト)を配布し、朝顔プランターで栽培を学ぶ。(先生の農業に関する指導も必要)
米野小学校 野菜栽培体験		◎		○	○	◎ ○ ○	◎	野菜の苗(ミニトマト)を配布し、朝顔プランターで栽培を学ぶ。(先生の農業に関する指導も必要)
陶小学校 野菜栽培体験		◎		○	○	◎ ○ ○	◎	野菜の苗(ミニトマト)を配布し、朝顔プランターで栽培を学ぶ。(先生の農業に関する指導も必要)
三ツ瀧小学校 稲作農業体験		◎		○	○	◎ ○	◎	お米の大切さ食と農に関する関心を高める、働く喜びを感じることを目的とする。
篠岡小学校 桃収穫体験		◎		○	○	◎	◎	現在は当JAの試験ほ場で行っているが、地元農家の畑で収穫体験できるのが理想
陶小学校 桃収穫体験		◎		○	○	◎	◎	協力農家との連携
親子で農業体験			◎		○	◎	◎	旬のくたものの収穫体験に加え、昨年度からSDGsに関するミニ体験を追加。
小牧中学校 桃調理実習		◎		○	○	◎ ○	◎	協力農家との連携
本庄小学校 大豆栽培と豆腐づくり体験		◎		○	○		○ ◎	JA女性部との連携
篠岡小学校 大豆栽培と豆腐づくり体験		◎		○	○		○ ◎	JA女性部との連携

令和5年度 食育に関する取り組み一覧

★調査方法★ (1) 主に対象となる目標1項目に◎ (2) その他に対象になる項目には○ (複数回答可)

【報告者名】 愛知県尾張農林水産事務所 農政課 池田温美		対象年代		基本目標1 食を通して健やかな身体をつくろう	基本目標2 食を通して豊かな心を育てよう	基本目標3 食を通して環境にやさしい生活をしよう	基本目標4 食育を広めよう	今後の課題・問題点
事業名	園児	小中学生	一般市民	加毎日朝食を食べる人の増加 自分の食生活がよくなったと思える人の増加 自分の適正体重を知っている人の増加 よく噛んで味わって食べる人の増加	人への増加 食事が楽しいと回答する人の増加 「いただきます」「ごちそうさま」などのあいさつをする人の増加 郷土料理を年1回以上実施している人の増加	地元産食材を購入している人の増加 食料の残った人の増加 食料の残った人の増加 食料の残った人の増加 食料の残った人の増加	自宅で作る野菜を栽培している人の増加 食料の残った人の増加 食料の残った人の増加 食料の残った人の増加	
	食育推進ボランティアの募集 (5月下旬～6月末)			○				◎
地域食育推進ボランティア研修 交流会 (尾張地域10/16(月)開催)			○				◎	【あいち食育いきいきプラン2025目標】 ・農林漁業体験学習に取り組む小学校の割合 (77.8%(2019)⇒71.1%(2022)⇒目標値 80%以上(2025)) 【食と緑の基本計画2025尾張地域重点推進プラン目標】 ・農林水産業に関わるイベントの参加者数 (13,146人(2019)⇒12,520人(2022)⇒目標値 13,500人(2025))
小学校の農林漁業体験学習の推進 (「学校での農林漁業体験学習に係る地域協力者一覧」の送付、更新)		○			◎	○	○	【あいち食育いきいきプラン2025目標】 ・朝食に野菜を食べている小中学生の割合 (55.9%(2020)⇒61.5%(2022)⇒目標値 80%(2025))
食育劇「食まるファイブ」上演の支援 (小学校等への資料貸与、シナリオ提供) (2小学校：清須市・犬山市)		○		◎	○	○	○	【あいち食育いきいきプラン2025目標】 ・朝食に野菜を食べている小中学生の割合 (55.9%(2020)⇒61.5%(2022)⇒目標値 80%(2025))
Webページ「食育ネットあいち」 の更新(随時)			○	○	○	○	◎	Webページに掲載する食育イベントの情報を常時募集中
いいともあいち運動の推進 (推進店等募集、地域サロン開催、 facebook等による情報発信)			○			◎		【食と緑の基本計画2025目標】 【あいち食育いきいきプラン2025目標】 ・「いいともあいち運動」を知っている人の割合 (22.7%(2020)⇒24.2%(2021)⇒目標値 28%(2025)) 【食と緑の基本計画2025尾張地域重点推進プラン目標】 ・いいともあいち推進店への応援の実施回数(facebook等による情報発信) (2回(2019)⇒6回(2022)⇒目標値 12回(2025))
学校給食への県産農産物の利用促進 (意見交換会(12月予定))		○					◎	【あいち食育いきいきプラン2025目標】 ・学校給食において全食品数に占める県産食品数の割合 (40.4%(2020)⇒38.0%(2022)⇒目標値 45%(2025)) ・学校給食において年間に使用した県産食品の種類 (55種類(2019)⇒58種類(2021)⇒目標値 60種類(2025))
【その他の課題・問題点】								

令和5年度 食育に関する取り組み一覧

★調査方法★ (1) 主に対象となる目標1項目に◎ (2) その他に対象になる項目には○ (複数回答可)

【報告者名】 桃ヶ丘小学校 森川 美千代															
事業名	対象年代			基本目標1 食を通して健やかな身体をつくろう			基本目標2 食を通して豊かな心を育てよう			基本目標3 食を通して環境にやさしい生活をしよう			基本目標4 食育を広めよう		今後の課題・問題点
	園児	小中学生	一般市民	加毎日朝食を食べる人の増加	自分の食生活がよいと思う人の増加	自分の適正体重を知っている人の増加	よく噛んで味わって食べる人の増加	食事が楽しいと回答する人の増加	「いただきます」「ごちそうさま」などのあいさつをする人の増加	郷土料理を年1回以上実施している人の増加	地元産食材を購入している人の増加	食事の食べ残しをしない人が増加	自宅で作る野菜を栽培している人の増加	「食育」を知っている人の増加	
学校教育における健康教育・食育指導		○		○	◎		○	○	○	○	○		○	○	食育担当者はもちろんのこと、各担任が、食育指導を重ねていくための指針として、市内の全小中学校で、食に関する指導の年間計画を作成。年間計画に従い確実に指導を重ねていくことが大切である。
学校における農作物作り体験の推進		○			○							◎	○	○	学校によって、野菜栽培や田植え、桃の収穫や栽培した大豆を使った豆腐づくりなどの体験を、JAや地域の方の協力を得て行っている。本校でも、樹木医さんのご協力により、桃作り体験を継続している。(毎年3年生で実施)
学校給食を通じたコミュニケーションの促進		○						◎	○			○	○	○	コロナ禍の規制が撤廃され、ほぼコロナ禍前の状態に戻りつつある。互いの顔を見ながら、小声での会話を楽しむ子どもたちの姿から、食事の時間のコミュニケーションの大切さを教職員も実感している。ただし、今後も感染症の拡大状況に応じて、机の隊形や黙食等も検討する必要がある。
学校給食を通じた食育活動の普及啓発		○	○		○		○	○	○	○	○	○	○	◎	栄養教諭や栄養職員が、各校へ出向き、食に関する指導を行っている。SDGsを意識して、残飯が少ないクラスの配膳の仕方を給食委員会が全校に紹介している学校もある。食物アレルギーを持つ児童が増加していることに対応に追われる学級もあり、担任にかかる負担は年々増えている。
PTA・他機関との連携		○	○		○		○	○	○	○	○	○	◎	○	PTA給食試食会、ヘルスマイトによる授業支援など、食に関わる活動が再開されつつある。給食試食会は、保護者の関心も高く、学校の実態を知らせるのによい機会となっている。
【その他の課題・問題点】															

令和5年度 食育に関する取り組み一覧

★調査方法★ (1) 主に対象となる目標1項目に◎ (2) その他に対象になる項目には○ (複数回答可)

【報告者名】 篠岡小学校 栄養教諭 佐藤真澄															
事業名	対象年代			基本目標1 食を通して健やかな身体をつくろう	基本目標2 食を通して豊かな心を育てよう	基本目標3 食を通して環境にやさしい生活をしよう	基本目標4 食育を広めよう	今後の課題・問題点							
	園	小 中 校 生	一 般 市 民	加 毎 日 朝 食 を 食 べ る 人 の 増 加	自 分 の 食 生 活 が よ い と 思 う 人 の 増 加	自 分 の 適 正 体 重 を 知 っ て い る 人 の 増 加	よ く 噛 ん で 味 わ っ て 食 べ る 人 の 増 加		人 の 食 事 が 楽 し い と 回 答 す る 人 の 増 加	郷 土 土 産 物 を 年 1 回 以 上 実 施 し て い る 人 の 増 加	地 元 産 食 材 を 購 入 し て い る 人 の 増 加	食 事 の 食 べ 残 し を し な か っ た 人 の 増 加	自 宅 で 食 べ る 野 菜 を 栽 培 し て い る 人 の 増 加	「食育」に関する活動や行動をしている人の増加	
各教科、給食の時間、行事等を通じた栄養教諭と担任の連携した食に関する指導		◎		◎	○			○							栄養教諭の配置数が少ないため、在籍校のみ可能な取組となる。
食育だよりや学校HPを通じた食育情報の発信と啓発		◎		○	○			○				◎	○		学校独自の食育の取組を積極的に発信し、地域や家庭とも連携した食育推進体制の構築が必要。食育だよりは栄養教諭配置校のみ可能。
給食の時間に、給食献立を教材とした食に関する指導の実施		◎						◎	○						栄養教諭の配置数が少ないため、在籍校のみ可能な取組となる。
「あいちを食べる学校給食」の年3回の事業を通し、愛知の郷土料理や地場産物を知らせるなど、食育情報を発信。		◎						○		○					食育情報の活用状況や、取組の効果について、実施後の調査結果をもとに再度検討、改善していく。
栄養教諭による試食会の講演・入学説明会等を通じた、家庭へ食育啓発を実施		◎		◎				○						◎	栄養教諭の配置数が少ないため、市内全学校で実施していない。学校差がある。
家庭からの応募献立を給食献立に導入		◎	◎					○			◎				テーマを地場産物を活用した料理とし、家庭への地場産物に対する関心を高めることを目的とするが、応募者については特定の学校、地域などの偏りがある。
小学校において、担任が教科「家庭科」と連携した食育指導を促進できるように、「和食の日」におけるリーフレット配布予定（5年対象）		◎			◎										活用方法の手順書の作成。取り組みの効果について、実施後の調査結果をもとに再度検討、改善していく。
よくかむことを意識した給食献立の提供、また給食時間の放送資料の配付		◎									◎				歯と口の健康週間などの行事のみならず、毎月、積極的にかむことを意識した料理を導入。
合同推進部会（食生活・栄養部会）による、5年生対象に食育だよりリーフレット配布 担任による活用指導例添付		◎				◎									栄養教諭等と連携した個人データの活用により、個々に正確な実態把握ができるような仕組みが必要。高度の肥満・痩身などの課題を抱える児童生徒に対して、栄養教諭も含め、学校、学校医、家庭と連携した個別的な相談指導を実施していくことが重要。
【その他の課題・問題点】 各学校において、食に関する指導の全体計画を作成。食推進委員会を設置し、学校全体で食育を推進していかなければならないが体制が整備されていない課題である。健康こまきいきプランの計画の目標指標を把握した上で、個々の学校の実態に即して、課題点を見出し、教育活動の中に、食育の取組を盛り込んでいくことが必要である。そのためには、まず各学校の食に関する指導の全体計画を見直しているように、栄養教諭が見本となる例を提示できると良いと考えている。															

令和5年度 食育に関する取り組み一覧

★調査方法★ (1) 主に対象となる目標1項目に◎ (2) その他に対象になる項目には○ (複数回答可)

小牧市食生活改善協議会 松浦 康子

事業名	対象年代			基本目標1 食を通して健やかな身体をつくろう				基本目標2 食を通して豊かな心を育てよう				基本目標3 食を通して環境にやさしい生活をしよう		基本目標4 食育を広めよう		今後の課題・問題点	
	園児	小中学生	一般市民	加	自	自	よ	食	そ	郷	地	食	自	の	行		
親子の食育教室		◎	○	○			○	○	○					◎		7月26日に開催 親子で26人参加 募集の仕方の変更	
生涯骨太クッキング			◎	○	○		○	○	○							11月29日に予定 場所 保健センター 募集方法	
シニアカフェ			◎	○	○		○	○								10月25日に予定 場所 味岡市民センター 募集方法	
地区健康展(東部)野菜の手ばかり			◎	○			○						◎			12月3日に東部市民センターで開催予定	
福祉展に野菜の手ばかりと飲み物の糖分比べ	○	○	◎	○							○		○			10月21/22日 場所 市民会館 コロナ感染予防をどこまでするか	
農業祭に野菜の手ばかりと飲み物の糖分比べ	○	○	◎	○							○		○			11月18/19日 場所 市民会館 コロナ感染予防をどこまでするか	
広報小牧「ヘルスマイトのおすすめ料理」			◎	○	○		○	○					○			年6回 使うことのできる調味料の種類の拡大	
ふれあいサロン・いきいきサロン味岡児童館事業	○	○	◎	○			○						○			日時未定	
暮らしのニュースにレシピ提供			◎	○									○			月1回ヘルスマイトのおすすめメニュー	
【その他の課題・問題点】 会員数の減少・高齢化 配布物が白黒では視覚に訴えることが難しい カラー化したい																	

令和5年度 食育に関する取り組み一覧

★調査方法★ (1) 主に対象となる目標1項目に◎ (2) その他に対象になる項目には○ (複数回答可)

【報告者名】 三ツ渚保育園 川瀬 晶子																		
事業名	対象年代		基本目標1 食を通じて健やかな身体をつくろう		基本目標2 食を通じて豊かな心を育てよう		基本目標3 食を通じて環境にやさしい生活をしよう		基本目標4 食育を広めよう		今後の課題・問題点							
	園児	小中学生 一般市民	毎 日 朝 食 を 食 べ る 人 の 増 加	自 分 の 食 生 活 が よ い と 思 う 人 の 増 加	自 分 の 適 正 体 重 を 知 っ て い る 人 の 増 加	よ く 噛 ん で 味 わ っ て 食 べ る 人 の 増 加	食 事 が 楽 し い と 回 答 す る 人 の 増 加	「 そ う い た だ き ま す 」 「 こ ち ら を さ ま 」 な ど の あ い さ つ を す る 人 の 増 加	郷 土 料 理 を 年 1 回 以 上 実 施 し て い る 人 の 増 加	地 元 産 食 材 を 購 入 し て い る 人 の 増 加		食 事 の 食 べ 残 し を し な か っ た 人 の 増 加	自 宅 で 食 べ る 人 の 増 加	自 宅 で 食 べ る 野 菜 を 栽 培 し て い る 人 の 増 加	「 食 育 」 を 知 っ て い る 人 の 増 加	行 動 を し て い る 人 の 増 加		
野菜の栽培 (野菜の栽培を通して食への興味・関心や豊かな心を育てる。)	◎						◎	○										
【その他の課題・問題点】																		

令和5年度 食育に関する取り組み一覧

★調査方法★ (1) 主に対象となる目標1項目に◎ (2) その他に対象になる項目には○ (複数回答可)

【報告者名】農政課 松本 健											
事業名	対象年代			基本目標1 食を通じて健やかな身体をつくろう	基本目標2 食を通じて豊かな心を育てよう	基本目標3 食を通じて環境にやさしい生活をしよう	基本目標4 食育を広めよう	今後の課題・問題点			
	園児	小中学生	一般市民	毎朝朝食を食べる人の増加 自分の食生活がよいと思う人の増加 自分の適正体重を知っている人の増加 よく噛んで味わって食べる人の増加	食事が楽しいと回答する人の増加 「そういえば」などのあいさつをする人の増加 郷土産品を年1回以上実施している人の増加	地元産食材を購入している人の増加 食事の食残しを減らした人の増加 自宅で食べる野菜を栽培している人の増加	食育に関する知識の増加 食育に関する行動を促している人の増加				
収穫体験、農業体験の推進 (農業体験講座を実施)			◎				◎				
生産者と消費者の交流の促進 (ハラあじさいまつり、市民まつり、農業祭)	◎	◎	◎			◎					
家庭菜園の推進 (藤島・池之内市民菜園、農業体験講座)			◎				◎				
【その他の課題・問題点】											

★調査方法★ (1) 主に対象となる目標1項目に◎ (2) その他に対象になる項目には○ (複数回答可)

【報告者名】 ごみ政策課 土田 賢太郎															
事業名	対象年代			基本目標1 食を通して健やかな身体をつくろう			基本目標2 食を通して豊かな心を育てよう			基本目標3 食を通して環境にやさしい生活をしよう		基本目標4 食育を広めよう		今後の課題・問題点	
	園児	小中学生	一般市民	加 毎日朝食を食べる人の増	自 分の食生活がよいと思	自 分の適正体重を知って いる人の増加	よ く噛んで味わって食べ る人の増加	人 食事が楽しいと回答する 人の増加	そ う「いただきます」のあいさ つをする人の増加	郷 土料理を年1回以上実 施している人の増加	地 元産食材を購入してい る人の増加	か 食事の食べ残しをしま った人の増加	自 宅で食べる野菜を栽培 している人の増加		の 食育」を知っている人 の増加
食品ロス削減の普及啓発 (小学4年生向け食品ロス削減普及啓発教材「私たちのくらしとごみ」の作成、配布)		◎									◎				
廃食用油等のリサイクルの推進			◎								◎				
【その他の課題・問題点】															

令和5年度 食育に関する取り組み一覧

★調査方法★ (1) 主に対象となる目標1項目に◎ (2) その他に対象になる項目には○ (複数回答可)

【報告者名】保健センター 赤塚 真規子																
事業名	対象年代			基本目標1 食を通して健やかな身体をつくろう				基本目標2 食を通して豊かな心を育てよう			基本目標3 食を通して環境にやさしい生活をしよう			基本目標4 食育を広めよう		今後の課題・問題点
	園児	小中学生	一般市民	毎 日 朝 食 を 食 べ る 人 の 増 加	自 分 の 食 生 活 が よ い と 思 う 人 の 増 加	自 分 の 適 正 体 重 を 知 っ て い る 人 の 増 加	よ く 噛 ん で 味 わ っ て 食 べ る 人 の 増 加	食 事 が 楽 し い と 回 答 す る 人 の 増 加	「そ う だ だ さ ま 」 な ど の あ い ざ つ を す る 人 の 増 加	「こ ち ろ 」 な ど の あ い ざ つ を す る 人 の 増 加	郷 土 食 材 を 年 1 回 以 上 実 施 す る 人 の 増 加	地 元 産 食 材 を 購 入 し て い る 人 の 増 加	食 事 の 食 べ 残 し を し な か つ た 人 の 増 加	自 宅 で 食 べ る 野 菜 を 栽 培 し て い る 人 の 増 加	「食 育」 を 知 っ て い る 人 の 増 加	
歯みがき教室	◎		○	◎	○		○	○				○		○		【課題】 公立保育園以外に通う子どもたちへの食育教育の機会
離乳食教室(前期・後期)			◎	○	○		○	◎	○					○		【課題】 ①より多くの対象月齢の方に受講してもらうこと。②適切な幼児食への移行、および将来の望ましい食生活への発展。
ヤング検診結果説明			◎	○	◎	○										【課題】 ①新規受診者の増加②次年度以降の継続受診③結果説明会の機会をとらえての意識変容
自分・家族の健康を考える食生活講座 (ヘルスマイト養成講座)			◎	○	○		○	○						○	◎	【課題】 ①講座を通して食の大切さを伝え、受講者から家庭、地域へと広がっていくこと②ボランティア意識の高いヘルスマイトを養成すること③新規参加者の増加
生活習慣病予防相談			◎	○	◎	○	○									【課題】 通知時期、内容の調整、参加者の増加
健康日本21小牧計画推進部会 (栄養・食生活部会)		○	○	○	◎	○		○	○	○				○		【課題】 ①小牧市ヘルシーメニュー：提供店の増大。②働き世代の生活習慣病予防：効果的なアプローチ方法③子供の朝食欠食改善④食育だより：配布後の生徒の行動変容の追跡(分析、調査)⑤高齢者のフレイル予防：効果的な周知方法
健康教育、出前講座		○	◎	○	◎	○	○	○	○	○	○			○		【課題】 新規申し込み団体の増加
【その他の課題・問題点】																

令和5年度 食育に関する取り組み一覧

★調査方法★ (1) 主に対象となる目標1項目に◎ (2) その他に対象になる項目には○ (複数回答可)

【報告者名】学校給食課 林 泰博								
事業名	対象年代			基本目標1 食を通して健やかな身体をつくろう	基本目標2 食を通して豊かな心を育てよう	基本目標3 食を通して環境にやさしい生活をしよう	基本目標4 食育を広めよう	今後の課題・問題点
	園児	小中学生	一般市民	加 毎 日 朝 食 を 食 べ る 人 の 増 加 自 分 の 食 生 活 が よ い と 思 う 人 の 増 加 自 分 の 適 正 体 重 を 知 っ て い る 人 の 増 加 よ く 噛 ん で 味 わ っ て 食 べ る 人 の 増 加	食 事 が 楽 し い と 回 答 す る 人 の 増 加 そ う さ ま な ど の あ い さ つ を す る 人 の 増 加 郷 土 料 理 を 年 1 回 以 上 実 施 し て い る 人 の 増 加 「 い た だ き ま す 」 「 こ ち ら 」 な ど の あ い さ つ を す る 人 の 増 加	地 元 産 食 材 を 購 入 し て い る 人 の 増 加 食 事 の 食 ハ 残 し を し な か っ た 人 の 増 加 自 宅 で 食 べ る 野 菜 を 栽 培 し て い る 人 の 増 加	の 増 加 「 食 育 」 を 知 っ て い る 人 の 増 加 行 動 を し て い る 人 の 増 加	
給食だよりの発行		○	○	○		○	○	
食に関する指導		○		○	○	○	○	学級活動や家庭科、総合的な学習で児童生徒に直接話す食育を実施しているが、クラス単位での実施となるので、限られた数となっている。
学校ホームページによる啓発		○	○				○	
学校給食における地場産物や郷土料理の活用		○				○	○	天候や生産者の減少により量の確保が難しい。
給食残渣のリサイクル処理		○					○	
ユニバーサル給食の実施		○			○		○	アレルギーの原因となる特定原材料等28品目を除いたユニバーサル給食を提供しているが、その他の食材にアレルギーのある児童生徒は食べられない。 栄養価は低いが高価になる場合があり、回数を増やすことは難しい。
【その他の課題・問題点】								